

校内整備

本校の正面玄関にある下水道工事後に行われた舗装が酷く痛んでおり、水がたまり、窪みで転倒など怪我が心配されていました。そこで、今まで学んだことを生かし、修繕したいと考えました。修繕箇所を幅 0.93m、長さ 7.3m に決めました。

修繕方法は打ち換えによる方法で、不明な舗装箇所を全部取りのぞき、新しく舗装を行う方法です。アスファルト舗装材料は、常温で舗装ができる「レミファルト」を使用することにしました。

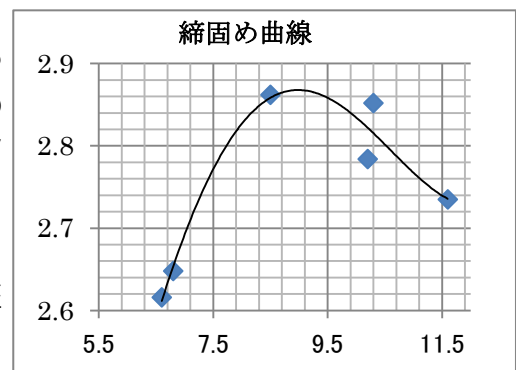


舗装の撤去は、ハンドグラインダーに直径 105mm のアスファルトカッターの歯を取付け、撤去したい箇所を 2.5cm の深さまで切断した。切断した箇所からボールとげんのうを使いはつりだしました。

実際に撤去すると、アスファルト下の上層路盤まで剥がれてしまい、そのまま「レミファルト」だけで舗装すると、大量の「レミファルト」が必要となるので、粒度調整碎石で上層路盤をつくることにしました。

粒度調整碎石は、粗骨材、細骨材を軸として用いることにしました。粒度調整した試料を作成し、締固め試験の結果、最適含水比 9.0% 最大乾燥密度 2.87g/cm³でした。

打ち換え工事は、粒度調整碎石班とアスファルト班に別れて、粒度調整碎石班は、試料の含水比を測定し、最適含水比になるように水を調節しました。アスファルト班は、舗装の撤去作業をしました。



粒度調整碎石を敷き均し、ソイルコンパクターで転圧しました。レミファルトをき均し、ソイルコンパクターで転圧するのを繰り返して、舗装を完成させることができました。

